



題字 井口 文章
再刊 第413号
印刷・発行 錦城高等学校新聞委員会
編集室 2023

みんなでつくる 錦城高校新聞

一面.. 新入生歓迎会の様子を企画
生物部による花壇リニューアル
二面.. 新聞づくりの4STEPをご紹介します
あなたも新聞に入りませんか?

新たな世界への第一歩

新入生歓迎会開催

4月10日(月)に第一体育館にて新入生歓迎会が行われた。38個の部活動や同好会が映像や実演を用いてそれぞれの部活の魅力を紹介した。今号ではその様子を紹介する。

三年ぶりのハレルヤ

新入生歓迎会の演目は吹奏楽部と室内楽部の合奏に合わせた1年次に音楽選択をしていた2年生による「ハレルヤ」の合唱から始まった。「ハレルヤ」が新入生歓迎会で演奏されるのは三年ぶりのことで、



息ぴったりな動きを披露する体操部



華やかに歓迎される新入生

異文化を学び、自分を磨く

海外に翼を広げる

ターム留学に行った佐藤実苗さん(2F)に、留学しようと思ったきっかけを尋ねた。佐藤さんは留学することに中学生の時から憧れていたそう。「未知の世界に飛び込んで、自分の英語力を試してみたい」と話した。日本よりも現地の人たちの

自由な雰囲気を感じ

今回オーストラリアへ留学した西川颯亮さん(3M)は、ホームステイ先の家庭で現地の家族のありがたをとても実感しました。また、失敗を恐れずにやりたいと思ったことを実践し、今を全力で楽しめ



海外の文化に触れることが出来たそうだと話す佐藤実苗さん

想を「とても楽しかったです。めったにできないような良い経験をすることができました」と話した。

個性豊かな実演紹介
最初に実演紹介を行ったのは軽音楽部。ステージで『残響散歌』を演奏した。有名な曲の生演奏に1年生は興味津々で、会場は熱い盛り上がりを見せた。空手道部は演武を披露。形や組手などで魅せた迫力あふれる動きと、緊迫した雰囲気の中響き渡る道着の擦れる音に1年生は圧倒されていた。大きな掛け声や一糸乱れぬ動きが決まると、大きな拍手があがった。

また、男子バレーボール部、女子バレーボール部、フットサル部はボールをパスしあうなどして実演を行い、鋭いサーブが決まると会場には大きな歓声が響き渡った。室内楽部は『情熱大陸』を演奏。美しい弦楽器の音色に合わせて会場は手拍子に包まれた。小休止を挟んで始まった部活動の実演紹介後半は体操部やバスケットボール部などの運動部や吹奏楽部が実演を含めた部の説明をした。初めは体操部の演技が行われ、アツプテンポの曲に合わせて部員がアクロバティックな技を次々と決めていく。その他にも一糸乱れぬ徒手体操を披露して、1年生から大きな歓声と拍手が送られた。

最終下校時刻が夏季時刻になりました!

冬季 18時 → 夏季 18時半



一発芸で会場を沸かす

男子バスケットボール部とサッカー部は一発ギャグを含めたコミカルな紹介をして会場を沸かせた。吹奏楽部は息の合ったドリルステージで「ウルトラソウル」を披露。迫力満点の演奏に会場内の人々を魅了した。ダンス部は目を奪われていた。ダンス部は男女別に発表を行った。男子のダイナミックな技や、女子の表現力に引き込まれていた。

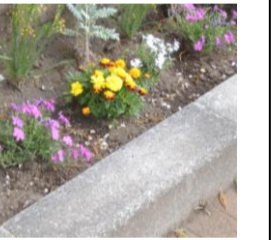
むらさき草

2023年4月9日(日)統一地方選挙が行われた。この選挙では道府県と政令都市の市長と議会議員が選ばれた。4月23日(日)には政令都市以外の市区町村の市長と議会議員が選ばれる。今回の統一地方選挙が行われるにあたってNHKでは政見放送が行われていた。夕食後にテレビをつけていると、大阪府知事選の政見放送が流れてきたため耳を傾けていると「大阪に核を配備します」という発言が聞こえてきた。世界唯一の核保有国である日本には核は必要なのだろうかかと考えた。4月6日に沖縄県宮古島周辺を飛行中だった自衛隊のヘリが墜落した。この墜落事故に関してネット上では「中国のヘリが墜落した」という意見が出回っていたが、防衛省はこれを否定した。これが様々なメディアで発信されてもおかしくない。ネットでは「中国がミサイルで自衛隊ヘリを撃ち落とす」といったような意見が拡散され続けている。先日名誉毀損の罪で国際手配されたガーシー(東谷義和)氏。彼は28万票をもった。Aさんは、映像も実演も楽しかった。またBさんは、声も弾ませる。またCさんは、映像は写真で見るとときもインパクトがあった」と話した。驚いた様子だった。そんな二人が見学に訪れたのは文藝部。もともと読書や創作が好きなのであるため見学に来たそう。

錦城を新しく彩る

生物部が新入生を歓迎

錦城高校正門をくぐった先には生物部が管理している花壇がある。生物部植物班の班長鈴木美玖さん(2K)は今まであった花壇に新しく花を植えることになった理由として生物部の裏にある畑で育てている生物たちのえさを自給自足するとともに錦城の環境をより良いものにしたかったからだと話す。「少し前に入学式もあったので正門が少しでも華やかになっていれればいいです」と笑顔で語ってくれた。今の花壇に植えられている花は2回目に植えた花だそう。「一度目に植えた後、雨が4、5日降り続いて花が枯れてしまったんです」と語る鈴木さん。もう一度作り直した今は、元気に育っていると教えてくれた。花壇の中で見てほしいポイントとしては、色合いをそろえたことだと話す。「植物班のみんなで植える花の色を多数決で決めました」と語ってくれた。花壇には青と黄色を基調にさし色で白とピンクが入った花々が植えられている。皆さんも登下校時にぜひ気にかけてみてはどうだろうか。



生徒を出迎える美しい花々

体操部

in 第1体育館

誰でも体験に来てください!!

将棋部

部員募集!!

活動日: 火水木
活動場所: 7階
部室前に掲示予定

王 気軽に挑戦!!

4/20 (木)

クレーン作り体験

初心者も大歓迎!

興味のある方は、菅原(すがはら)あや先生まで! クッキング同好会

文藝部

- 読書
- 倉り作
- イラスト
- 雑談
- 新入りあります

ゆるりと楽しみたい人はぜひ!!

1号棟 7階へ

放送部

月・水・金の週3日活動しています!!

行かす声優、機材に興味のある方は2階の放送室まで!!

室内楽部

Chamber Music Club

活動場所: 視聴覚室B
活動日: 月~金
初心者大歓迎!!!

新聞づくりの裏側を大公開!

新校舎7階生徒会室で待っています

錦城高校新聞を紹介

錦城高校新聞とは新聞委員会編集部が年間約30号発行している学校新聞です。

新聞委員会は各クラスから1人以上選出され、新聞の配布やアンケートを行う「一般委員」、実際に取材や編集を行う有志「編集委員」で構成されています。現在、編集委員は3年生4人、2年生7人の計11人で活動しています。新聞の紙面の内容は入学式や球技大会、錦城祭、校外学習などの行事、大会で実績を残した部活動、生徒会の活動やそれに対する生徒の声が中心です。この他にも小平市の公共施設やお店を取材させていただく外部取材や様々な連載企画が掲載されます。

錦城高校新聞委員会は大変でも好成绩を収めていて「文化部のインターハイ」と呼ばれる全国高等学校総合文化祭新聞部門には15年連続で出場しています。昨年度は高等学校新聞コンクールにおいて最優秀賞を、2022とうきょう総文において年間紙面審査賞を受賞したことで2023かごしま総文への参加が決定しています。

錦城高校新聞は「みんなで作る」の理念を掲げ、多くの生徒や先生方、地域の方々の協力を得ながら長年にわたり発行され続けてきた歴史のある学校新聞です。

近年の活動実績をご紹介

錦城高校新聞委員会は錦城生をはじめとした多くの方々に支えられて、これまで多くの実績を挙げてきました。特筆すべきは、全国高等学校総合文化祭(以下総文祭)への出場です。全国高等学校総合文化祭は、昭和52年から各都道府県が持ち回りで開催する高校生による芸術文化活動の祭典である。この大会は、新聞部門だけでなく、将棋や

2003	東京都新聞コンクール初出場
2008	東京都新聞コンクール東京新聞賞受賞
2009	全国大会初出場
2016	全国大会優秀賞初獲得
2022	第46回全国大会出場(15年連続)
2023	第47回全国大会出場予定(16年連続)

新聞委員会編集委員は取材を通して多くの生徒や先生方と交流できるだけでなく、普通の高校生活では出来ない貴重な経験をたくさん重ねることが出来ます。これが新聞委員会編集委員の大きな魅力です。この紙面で紹介されている錦城高校新聞が皆さんの手元に届くまでの過程のどこか一つにでも興味を持ったら、ぜひ新校舎7階の生徒会室まで足を運んでみてください。一緒に錦城の歴史の1幕を刻みましょう!(金)

記事の内容からすべて生徒で決めるのが特徴の錦城高校新聞。編集者を表裏で1人ずつ決め、その2人を中心に新たな号の企画が動き出します。まずは、前号を印刷し終わった後にすぐ編集会議を行い、編集者を中心に編集委員で協議を重ねて企画決定を行います。具体的には紙面のレイアウト・記事の内容・担当者・締め切り・文字数の決定。その後は取材対象者へアポを取ったり、記事を書くための調査を行ったりします。(香)

①企画



錦城生が興味を持ってくれるような紙面になるように編集委員で工夫しています。前号が発行された次の日に行っています。

取材を終えたら、すぐに記事担当は記事作成、写真担当は写真選別に取り掛かります。記事は、取材した内容をパソコンで文字起こし、文字数の調整や添削などを経て完成します。写真は、撮影した写真から紙面に載せられそうなものを選別して編集担当に提出します。そして、完成した記事と写真を予め決めておいた紙面のレイアウトに組み込み、もう一度調整を重ねる……。その後に見出しなどをつけ、ようやく紙面は完成するのです。(香)

②取材



行事や部活動など取材先は様々ですが、腕章とカメラを持って校内で取材を行っている編集委員を見かけることは多いでしょう。生徒などに行う対人の取材では、予め決めておいた質問をもとにインタビューを行います。行事の取材では、行事で起きたことを速報として伝えられるようにメモしたり、その場の人に即席で取材をしたりします。そして取材した内容をもとに記事を書いていきます。みなさんが取材を受けることになったら、ぜひご協力をお願いします。(香)

印刷ミスがないように気を付けながら刷っていく。協力しながらスムーズに作業していきます。

③編集



今号を編集している途中の様子です。見やすい紙面を目指して試行錯誤しながら紙面を編集していきます。

印刷は新校舎7階にある生徒会印刷室のプリンターにて編集委員が自ら行って、発行するたびに生徒、教職員、学校関係者、校外に向けて約1500部以上印刷しています。近年では発行された紙面をインターネット上でも見ることが出来るように錦城高校のホームページにアップロードしており、完成した紙面は各クラスの人数に分けて配布しています。これらのことを外部の業者に委託するのではなく、生徒自身の手で行っているのが他の学校新聞とは異なる錦城高校新聞の特徴であり魅力です。(桂)

④印刷配布

編集部員の声

新聞委員会編集室は月曜日から土曜日まで、週6日間活動していますが、必ず全員が毎日来る必要はありません。編集委員は半分以上が兼部しており、勉強や他の部活動と両立して活動している人も多いです。企画、取材、印刷のすべてを編集委員が行うため、紙面が完成した時は大きな達成感を感じることが出来ます。私の考える新聞委員会の魅力は、委員同士の距離が近いことです。編集委員は個性的なメンバーが集まっており、編集室での会話はいつも盛り上がりやすいです。先輩と後輩の仲も良く、雰囲気も良いので全員で協力して新聞を作ります。また貴重な経験を多く積めることも魅力の一つです。新聞委員会では錦城高校の生徒や先生だけではなく、講演会に訪れる講師の先生や地域の人から詳しくお話を聞く機会があります。外部取材を通して様々な人生や信念をもった人からお話を聞くことで、他では得られない学びや経験を得られます。私は元々文章を書くことや人に話を聞くことが得意ではありませんでしたが、取り組んでいくうちに上達しました。多くの人の話から学び、全員で一つのものを完成させることの達成感や喜びは何にも代えることができないものだと考えています。(鋼)

錦城新聞の良き伝統

錦城高校新聞の記事は編集委員によって書かれています。発行されていく紙面の困りごとを多く見ると、記事の終わりに括弧がついた漢字1文字が記載されています。これは記事の取材と文章を担当した編集委員の書名、いわゆるペンネームです。書名は編集委員になつてから決めますが、ただ適当に漢字を選んでいくというわけではありません。書名を決める際には学年ごとにテーマがあり、これに沿って各々が好きな漢字を選びます。これは錦城高校新聞独自の伝統です。59回生は将棋の駒から、60回生は各自の誕生日の和名から各々好きな漢字を1文字とっています。

- 「香」香車(この駒はまっすぐ前にしか進めない。自分もそんな生き方をしたい。)
- 「金」金将(新聞委員会のA面英雄になりたい)
- 「桂」桂馬(駒のひねくれた進み方が自分の姿と重なった)
- 「歩」歩兵(一つ前にしか進めない駒だから、自分も一歩一歩着実に進んでいきたい)
- また60回生は、
- 「紫」アメジスト(紫水晶)
- 「蛋」と「白」
- 「オパール」(蛋白石)
- 「珠」
- 「パール」(蛋白石)
- 「鋼」コロンダム(鋼玉)
- 「月」
- 「ムーンストーン」(月光石)
- 「橄」レバドット(橄欖石)
- を書名としています。
- このような学年ごとの個性豊かな書名は錦城高校新聞の魅力の一つになっています。
- 現在新聞委員会では11人の編集委員が書名に誇りをもって日々活動しています。61回生のみならず新聞委員会自分だけの書名を考えてみませんか?

錦城高校 クイズ研究会 × 錦城高等学校新聞委員会 編集室 2023

【第2回】 入会希望者は 大浦優太(3L)まで!

west = 8
lion = 16
meat = nation = 18
afternoon = 25

問題 表の式が成り立つとき、comb + leaf の式に当てはまる数字は何でしょう?

むらさき草 新聞の表面の左下に毎号掲載されている「むらさき草」。旬の話題や自分の趣味、常日頃抱えている疑問など、いつも様々なことを取り上げて書いています。内容も真剣に物事を考察するものから、思わず笑顔になるような面白いものまで様々。編集委員自身のコラムをぜひ注目して読んでみてください。(香)

オリジナル企画連載中!!

錦城高校新聞再刊400号記念として今年2月から始動した新企画。担当の編集委員が過去の記事から厳選し、紙面の魅力が伝わるように紹介しています。厳選された記事は、過去に高評価を頂いたものから、編集委員が興味を持った紙面までバリエーション豊か。紹介された紙面をじっくり読みたいと思ったら、ぜひ錦城HPで読んでみてください。HPに載っていない紙面は、生徒会室に保管してあるので読みに来てみてはどうでしょうか。(香)